

# 平成25年度病害虫発生予報第9号

平成25年12月3日  
愛知 県

## 野菜

### ・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
ハクサイ	コナガ	やや少ない	全域	11月下旬の発生量は平年並 ハクサイ産地におけるフェロモン トラップの誘殺数はやや少ない	± -
キャベツ	菌核病	やや少ない	全域	11月下旬の発生量はやや少ない 12月の降水量は平年並	- ±
	コナガ	やや多い	東三河 地域	11月下旬の発生量は平年並 東三河のキャベツ産地における フェロモントラップの誘殺数は やや多い	± +
トマト (施設)	葉かび病	やや少ない	全域	11月下旬の発生量はやや少ない 12月の日照時間は平年並	- ±
	黄化葉巻病	平年並	全域	11月下旬の発生量は平年並 黄色粘着トラップにおけるコナ ジラミ類の誘殺数は平年並	± ±
	コナジラミ類	平年並	全域	黄色粘着トラップにおける誘殺 数は平年並	±
ナス (施設)	うどんこ病	少ない	全域	11月下旬の発生量は少ない 12月の日照時間は平年並	- ±
	ミナミキイロ アザミウマ	やや多い	全域	11月下旬の発生量はやや多い 青色粘着トラップにおける誘殺 数は平年並	+ ±
キュウリ (施設)	べと病	やや多い	全域	11月下旬の発生量はやや多い 12月の日照時間は平年並	+ ±

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
キュウリ (施設)	ミナミキイロ アザミウマ	平年並	全域	11月下旬の発生量は平年並 青色粘着トラップにおける誘殺 数は平年並	± ±
イチゴ (施設)	灰色かび病	やや多い	全域	11月下旬の発生量はやや多い 12月の日照時間は平年並	+ ±
	うどんこ病	やや少ない	全域	11月下旬の発生量はやや少ない 12月の日照時間は平年並	- ±
	ハダニ類	多い	全域	11月下旬の発生量が多い	+

## ・防除対策

### 〔キャベツ・コナガ〕

アファーム乳剤、エスマルクDFなどで防除しましょう。なお、コナガは薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統薬剤の連用を避けましょう。

### 〔ナス（施設）・ミナミキイロアザミウマ〕

10月31日発表の「平成25年度病害虫発生予察注意報第5号」を参照してください。

### 〔キュウリ（施設）・べと病〕

アリエッティ水和剤、アミスター20フロアブルなどで防除しましょう。

### 〔イチゴ（施設）・灰色かび病〕

カンタスドライフロアブル、セイビアーフロアブル20などで防除しましょう。なお、灰色かび病は薬剤耐性が発達しやすいので、同一系統薬剤の連用を避けましょう。また、ボトキラー水和剤は薬剤耐性菌が発達しにくく、予防散布が効果的なので有効に活用しましょう。

### 〔イチゴ（施設）・ハダニ類〕

10月1日発表の「平成25年度病害虫発生予察注意報第4号」を参照してください。

## ・留意事項

キャベツ菌核病の発病株は伝染源となるので、早めに抜き取り適切に処分しましょう。

トマトでは、タバココナジラミがトマト黄化葉巻病の病原ウイルス（TYLCV）を媒介するので、防除を徹底しましょう。発病株は伝染源になるので、見つけ次第抜き取って適切に処分しましょう。

キュウリでは、ミナミキイロアザミウマがキュウリ黄化えそ病の病原ウイルス（MYSV）を媒介するので、防除を徹底しましょう。発病株は伝染源になるので、見つけ次第抜き取って適切に処分しましょう。

施設野菜の灰色かび病は、例年気温が低下するこの時期から発生が多くなります。初発を確認したら速やかに防除しましょう。特に、暖房機の設定温度を低くしている場合は、施設内が多湿になりやすいので注意しましょう。また、発病果や発病葉は速やかに

取り除いて適切に処分しましょう。

## 参考

東海地方 1か月予報（名古屋地方気象台11月29日発表）

〈予想される向こう1か月の天候〉

東海地方では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

週別の気温は、1週目は、平年並みの確率50%、2週目は平年並みの確率40%です。  
3～4週目は、平年並の確率40%です。

〈向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率〉

〔気温〕 低い : 30% 平年並 : 40% 高い : 30%

〔降水量〕 少ない : 30% 平年並 : 40% 多い : 30%

〔日照時間〕 少ない : 30% 平年並 : 30% 多い : 40%

### 「農薬使用者のみなさんへ」

- 飛散防止にこれまで以上に留意し、農薬の適正使用に努めましょう。
- 農薬使用前にはラベルの内容を確認しましょう。
- 農薬散布後は、防除器具のタンクやホースも、洗いもれがないようにしましょう。
- 農薬は、安全な場所に鍵をかけて保管しましょう。
- 農薬の使用状況を帳簿に記載しましょう。
- 農薬の空容器は、ほ場などに放置せずに適切に処理しましょう。

## E-mail 配信のご案内

予報（病虫害の発生予察情報）、最新情報（病虫害の防除情報など）、注意情報、その他 情報（いもち病情報など随時）などをメール（Word形式）でお届けします。（月2回程度）

ご希望の方は

件名に「E-mail配信の申し込み」

本文に

①氏名

②住所（市町村までで結構です）

③職業（例 農薬メーカー、農業）

以上を記入し、病虫害防除室までメールでお申し込みください。

病虫害防除室メールアドレス

byogaichu@pref.aichi.l  
g.jp



The image shows a sample of an email distribution notice from the Aichi Prefecture. At the top, there is a green banner with a globe icon and the text 'あいち病虫害情報' (Aichi Pest Information). Below this, it says 'E-mail 配信' (E-mail Distribution) and the date '2013.10.16'. The main content is titled '発生予察情報' (Occurrence Forecast Information) and lists two items: '最新情報 (10月16日)' (Latest Information (October 16)) and '調査データ' (Survey Data). Both items include a note: '※ PDFファイルを使用しています。' (We use PDF files). There is also a link to the homepage: 'あいち病虫害情報ホームページのトップはこちら。' (Click here for the top of the Aichi Pest Information homepage). At the bottom, contact information is provided: '(連絡先) 愛知県農業総合試験場 環境基盤研究部 病虫害防除室' (Contact: Aichi Prefecture Agricultural General Experiment Station, Environmental Base Research Department, Pest Control Room), with phone numbers: '電話 0561-62-0085', '内線 471', and 'Fax 0561-63-7820'. A small note at the bottom says '(リンク先が表示されない場合は Ctrl キーをおしながらクリックしてリンク先を表示する)' (If the link does not display, click while holding the Ctrl key to display the link).